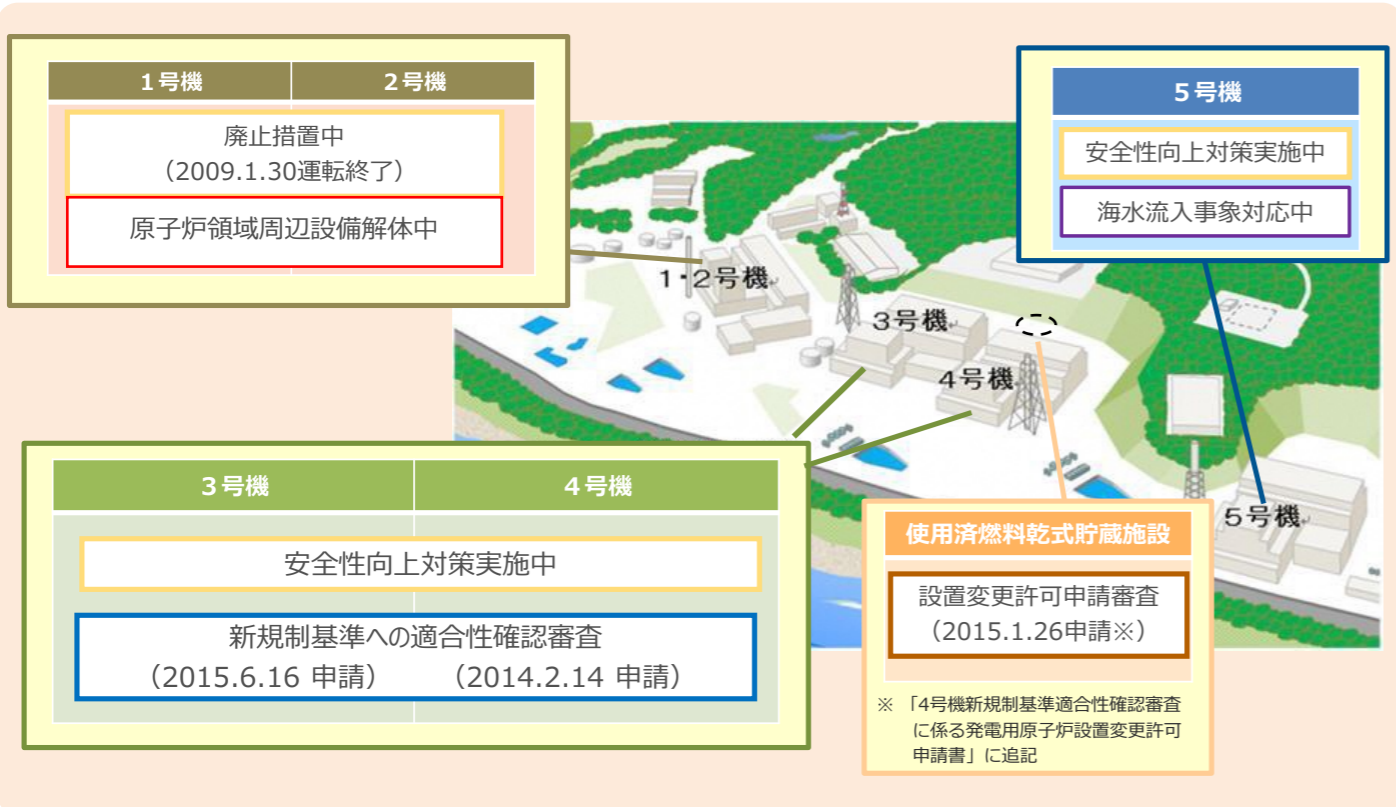


中部電力報告資料
2019年10月30日
中部電力株式会社
浜岡原子力発電所



<静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の点検および確認>

第86回 (2019年 8月27日) 第1~84回に引き続き、当社が実施している津波対策工事ほか追加工事
第87回 (2019年 9月10日) について、御前崎市の立ち会いの下、静岡県による点検を受けました。
第88回 (2019年 10月9日)



格納容器pH制御設備の設置工事点検の様子 (第86回)



代替熱交換器用配管設置工事及び可搬設備 (代替熱交換器車) の点検の様子 (第87回)



フィルタベント放射線監視強化対策工事点検の様子 (第88回)

<審査会合>

原子力規制委員会による新規規制基準適合性確認審査を受けています。
(3,4号機を申請中ですが、現在4号機の審査が進められています。)

<4号機の進捗状況> (2019年10月4日現在)

項目	地震・津波等に関する事項	プラントに関する事項
回数	共通：2回	
	37回	60回
主な審査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○地震、津波、火山 地下構造、地質構造、基準地震動、基準津波、地盤斜面の安定性、火山影響評価 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○設計基準事故対策 内部溢水、内部火災、外部火災、竜巻 等 ○重大事故等対策 確率論的リスク評価、有効性評価、解析コード 等
最近の状況	<p>【2019年7月19日】 (36回) プレート間地震の地震動評価 (プレート間地震と分岐断層および内陸地殻内地震の連動評価) について説明。</p> <p>【2019年9月6日】 (37回) 基準津波の策定のうち地震以外の要因による津波評価について説明。</p>	<p>【2019年3月14日】 (59回) 格納容器貫通孔におけるエアロゾル粒子捕集係数設定の考え方について説明 (BWR電力合同)。</p> <p>【2019年4月23日】 (60回) 格納容器貫通孔におけるエアロゾル粒子捕集係数設定の考え方について説明 (BWR電力合同)。</p>

審査は、地震・津波等に関する事項とプラントに関する事項に分けておこなわれています。今後も、原子力規制委員会による審査に真摯に対応し、新規規制基準に適合していることを早期にご確認いただけるよう努力していきます。

<1, 2号機 廃止措置の状況について>

【第2段階における解体撤去物量計画・実績 (年度毎)】

		2015 ~2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026~ 2029	合計*
		第2段階 原子炉領域周辺設備 解体撤去期間					第3段階 原子炉領域 解体撤去期間				
工 程	1 号 機	原子炉建屋	[2019-2022]				原子炉格納容器内解体 非常用炉心冷却系解体				
		タービン建屋	[2019-2022]				タービン本体解体 給水加熱器・復水器解体				
	2 号 機	原子炉建屋	[2019-2022]				原子炉格納容器内解体 非常用炉心冷却系解体				
		タービン建屋	[2019-2022]				タービン本体解体 給水加熱器・復水器解体				
屋外・排気筒		[2019-2022]				ほう酸注入系機器解体 主排気ダクト・排気筒解体 屋外設備解体					
解体撤去物量 (ト)		3,400 (実績)	2,500 (9月末推定 実績: 800)	2,500	3,500	3,700	3,700	4,000	4,000	1,100	28,000
		15,500					12,800				

解体撤去物量算出にあたっては、各作業工程毎に作業量を年度展開し、物量を算出

※端数処理のため合計値が一致しない

<1, 2号機 廃止措置の状況について>

【解体工事の状況】

工事前



現状



2号機 タービン・発電機の解体工事の状況

2号機 制御棒駆動水圧制御ユニットの解体工事の状況

1号機 原子炉再循環流量制御系の解体工事の状況

【解体撤去物のクリアランス】

- ・解体撤去物のクリアランス制度適用に係る認可(2019年3月19日)
- ・原子炉施設保安規定の変更認可(2019年9月3日)

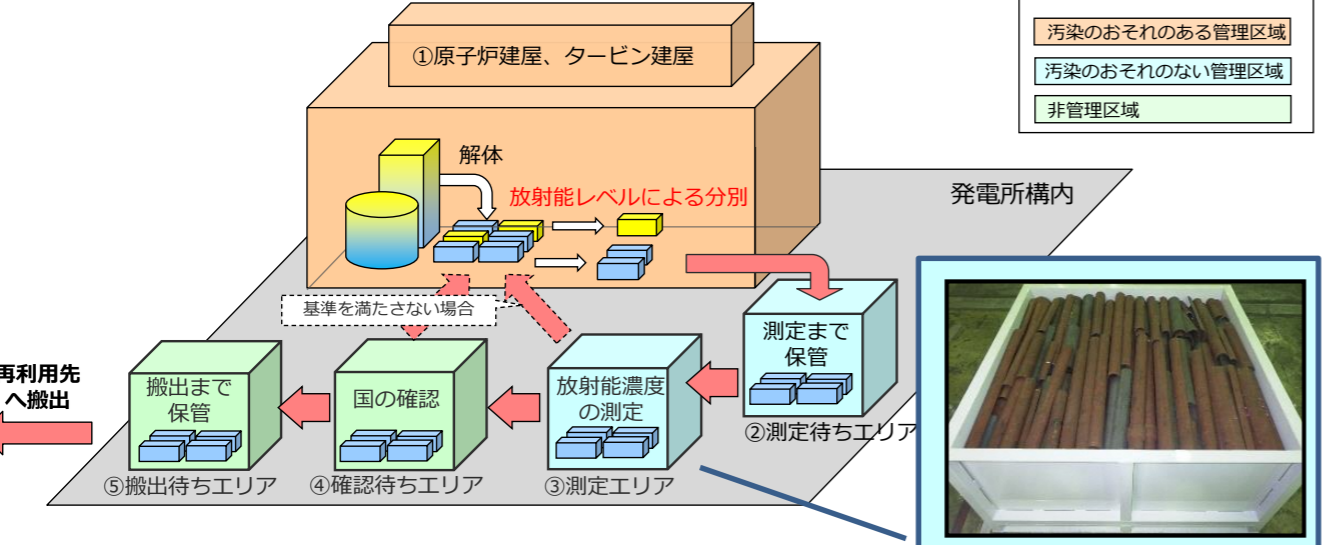


写真1 収納状況



写真2 測定装置

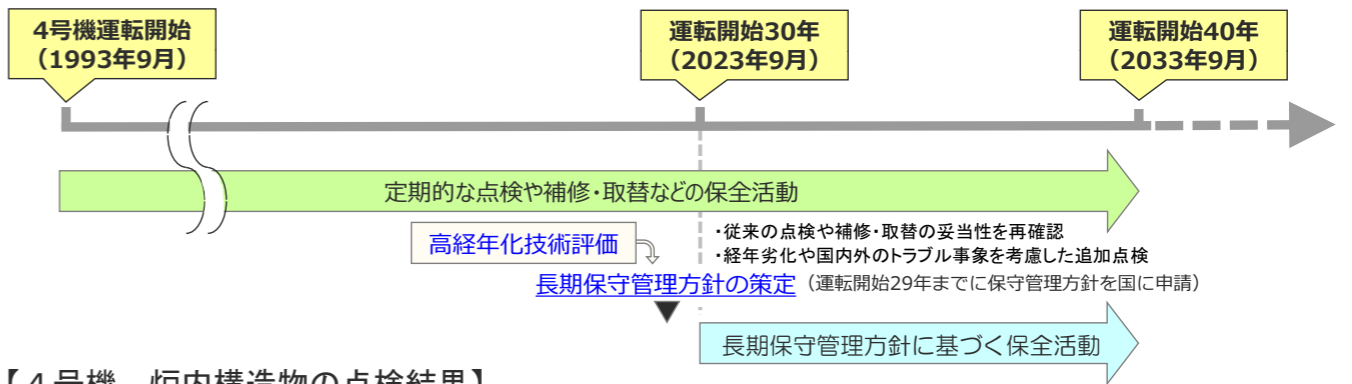
<測定・評価の流れ>

- ① 解体撤去物を専用の測定容器に収納(写真1)
- ② 収納物重量、収納物高さを測定
- ③ 放射能濃度の測定(写真2)
- ④ 後日、国の確認(記録の確認、再測定)を受ける。

<4号機 高経年化技術評価について(炉内構造物の点検結果)> 2019年8月9日公表

【高経年化技術評価】

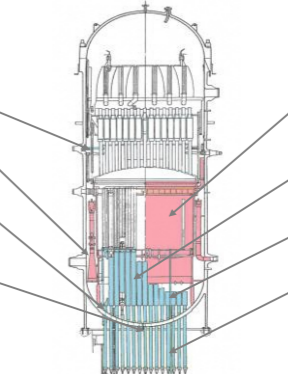
運転開始以後30年を経過する発電所においては、長期間の使用より、経年劣化の顕在化や進展に対しての評価が必要(実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第82条)



【4号機 炉内構造物の点検結果】

点検時期: 2018年12月～2019年8月

点検部位	点検結果
給水スパージャ	良
ジェットポンプ	良*
差圧検出・ほう酸水注入系配管	良
制御棒駆動機構ハウジング・スタブチューブ	良



点検部位	点検結果
炉心支持構造物(炉心シュラウド等)	良*
制御棒案内管	良
中性子束計測案内管スタブライザ	良
中性子束計測ハウジング	良

原子炉内構造物の点検結果(概要)

※機器の健全性に影響を与えないひび割れやわずかな隙間あり

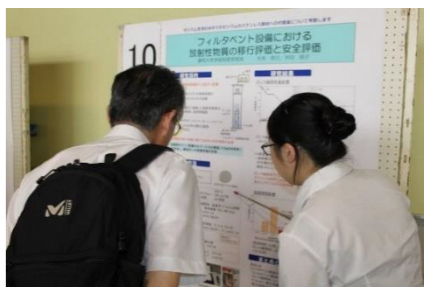
<トピックス(サイエンス・フォーラムの実施)>

原子力安全技術研究所※では、公募研究などの研究成果を研究関係者に公開するとともに、広く地域の方々にも知っていただくため、毎年「研究発表会(サイエンス・フォーラム)」を開催しております。

※さらなる原子力の安全性向上を目指し、原子力に係る研究の取り組みを一層強化するため、2012年7月浜岡原子力発電所内に設置しました。

サイエンス・フォーラム2019(開催日:2019年9月7日(土))

- ・特別講演「宇宙への夢 - 新たなる挑戦 - 」(講師:宇宙飛行士 土井隆雄氏)
- ・講師と中高生によるトークセッション
- ・研究成果発表
 - 「加工硬化層の特徴抽出に基づく表面仕上げの最適化による耐応力腐食割れ性向上」東北大学 阿部博志 講師
 - 「その場観察技術を用いた原子炉圧力容器材の照射影響評価」長岡技術科学大学 村上健太 准教授
 - 「防護施設並びに漂流物の影響を加味した背後構造物の波力評価手法の確立」中央大学 有川太郎 教授
 - 「海洋レーダによる津波予測におけるAI技術の適用」中部電力(株) 原子力安全技術研究所 研究員
- ・ポスターセッション
- ・浜岡原子力発電所の安全性向上への取り組み紹介(VRによる発電所見学体験)



サイエンス・フォーラム(2019年)の様相(一般の方々、大学関係者、地元中高生など約540人が来場)